

事業所名

放課後等デイサービス がるめりあ

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

9 月

18 日

法人(事業所)理念		子どもが未来を創る力を育む会社						
支援方針		SST、学習支援、身体機能向上トレーニングなどを通して、個々の特性に合わせて総合的支援する。 また、イベントを通して実際に社会体験をしてもらい、普段の療育の答え合わせをしていく。						
営業時間		13 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	手洗いやうがいなどの健康に関わる行動を、来所後の日常のルーティンとして取り入れ、自然に実行できる意識を持ってもらう。 買い物や乗り物の利用といった基本的な生活スキルを、SSTやイベントを通じて習得する。						
	運動・感覚	ボール遊びや追いかっこなど、遊びの中に運動を取り入れて楽しめるよう支援しながら、基礎体力や身体機能の維持に努める。 体幹が弱い児童には、本所独自のプログラムに基づくトレーニングで体幹強化を図る。						
	認知・行動	SST教材を使って、物の形状や名称といった基礎知識や一般常識を学ぶ。 社会性やマナーについてもSST教材で学んだことを、日常の集団行動やイベントといった社会体験を通じて段階的に実践との確認を重ね、精神的な成長を促す。						
	言語 コミュニケーション	主に職員との会話など、大人とのやり取りの中で経験を積み、具体的でスムーズなコミュニケーション方法を習得し、日常会話への自信を高めていく。 SST教材を通じて言語の知識を身につけ、特に基本的なやり取りや返答のパターンを学ぶことで、トラブル回避にも役立てる。 生活に必要な看板や字幕などの文字を読めるよう、実物や写真を用いた読みの練習を行う。						
	人間関係 社会性	コミュニケーションの機会を多く設け、職員や友達とのやり取りを通じて、相手の気持ちを読み取る大切さを学ぶ。 特に、よくあるシチュエーションやトラブル時などの重要な場面では、その状況を言語化して印象付け、自覚を促しながら学びにつなげる。 SST教材を使ってルールやマナーをテキスト化し、知識として習得する学習も取り入れる。						
家族支援		支援後にその日の様子を連絡。 ご家庭の状況に合わせて、支援、相談、アドバイスを行っていく。			移行支援		利用者の状況に合わせて必要な支援を行っていく。	
地域支援・地域連携		地域と児童の能力を鑑みながら、必要かつ実現可能な支援を考案・実行していく。			職員の質の向上		障害支援に関する研修の実施	
主な行事等		博物館・工場見学、料理レク、季節の行事、買い物支援、乗り物の乗り方支援、創作活動など						